

## 「文化に関する意識調査アンケート」結果分析について（事務局）

※〔 〕は、結果報告書の該当ページ

## ○一般用

〔P8～P10〕鑑賞活動について

【分析】各種イベントに対し、市民のフットワークの軽さを調査したところ、どのイベントについても「1回から5回程度」と回答する年代が多く、全体的なフットワークは重い傾向にあることがわかる。特に若い世代（10代～30代）は、文化芸術イベントにはほぼ足を運んだことがなく、これは不二輸送機ホールに関する設問〔P6～P7〕にも同様の傾向が見られた。

〔P11～P12〕市民の文化的意識

【分析】自身の鑑賞回数を「少ない」と思う、文化的環境にも「満足していない」住んでいるまちに文化は「必要」と回答する人が多いことから市民の文化芸術に対する意識は高いことがわかる一方で、鑑賞したいが時間が取れない、近所で公演や展覧会が行われていない、鑑賞に費用がかかる、とネガティブな意見も多数あった。

〔P13～P15〕これからの文化芸術

【分析】住んでいる地域の文化的な環境を充実させるためには「子どもが文化芸術に親しむ機会」が重要であり、学校や地域の文化施設における鑑賞機会や学習機会が充実し、それらを通して子どもの「創造性や工夫をする力が高まる」効果を期待する回答が多く見受けられた。

## ○学生用

〔P20～P21〕鑑賞活動について

【分析】文化芸術及びスポーツイベントを「0回」と回答した人と「1回から5回」と回答した人の割合が全体の7割にのぼり、一般と同様に全体的なフットワークは重い傾向にある。また、各種文化芸術イベント鑑賞についても、いずれも「0回」と回答した人が多く、不二輸送機ホールで行われている市主催イベントに関する設問〔P18～P19〕も「知らない・わからない」と回答した人の割合が約6割と全体的に文化芸術を鑑賞した経験がない傾向にある。

〔P22～P24〕学生の文化的意識

【分析】自身の鑑賞回数を「少ない」と思う理由として「関心がない」が最も多かったが、文化的環境には「満足している」という回答が多かった。このことから学生の文化芸術に対する意識が低いことがわかる。また、設問29〔P47：鑑賞しなかった理由〕や設問33〔P48：文化的環境の充実〕の回答のうち2番目に多い回答が「特にない・わからない」であったことから、その低さがうかがえる。

〔P25〕文化芸術全般

【分析】住んでいる地域の文化的な環境を充実させるためには「文化施設の充実」が重要であり、期待する効果として「美しさなどへの感性が育まれる」と回答した人が多かった。また、文化という言葉に対するイメージは「伝統的なお祭り・行事・芸能などのこと」が最も多く、こちらは一般と同じ結果になった。